

## Mixed grain and dryfield sites in the Western Japanese archipelago from the Jomon to the Yayoi period

NAKAMURA Yutaka, Tokushima University  
NAKAZAWA Michihiko, Nagano Prefectural Government

### 日本列島西部における縄文時代から弥生時代の雑穀と畠跡

中村 豊（徳島大学）・中沢道彦（長野県庁）

かつて、縄文時代から弥生時代への移行は、狩猟採集から農耕への変化と考えられてきた。近年、土器表面の圧痕研究などによって、縄文時代晩期後半には、イネ・アワ・キビなどがすでに存在していたと考えられるようになってきた。しかし、日本考古学では、弥生時代の始まりを不動の「新石器革命」とする立場に固執し、縄文時代における農耕の証拠を狩猟採集のライフサイクルのひとつとして軽視する潜在的意見が根強い。この立場は、平野における灌漑水田稲作のみに価値をみとめる単線的な歴史像を特徴とする。

一方この立場に違和感を覚える研究者も存在する。縄文時代に畠作農耕の可能性を認め、灌漑水田稲作導入後の畠作にも配慮し、農耕文化の多線的展開を認める立場である。筆者らも後者の立場から調査研究をおこなってきた。今回はその成果の一端を示したい。

#### 縄文晩期後葉（2800～2600<sub>14</sub>CBP）

島根県飯南町板屋Ⅲ遺跡や鳥取県米子市青木遺跡において、イネ・アワの圧痕を検出している。これらが、現時点で西日本最古のイネ科栽培植物の種子資料ということになる。

ほかに、徳島県徳島市名東遺跡（fig.2）や徳島県阿南市宮ノ本遺跡、和歌山県みなべ町徳蔵遺跡において、イネ・アワなどの圧痕を確認している。

この時期はまだ灌漑水田がみられない。イネ・雑穀は畠作によるものとかんがえられる。

#### 縄文／弥生移行期（2600～2500<sub>14</sub>CBP）

徳島県徳島市三谷遺跡は、縄文晩期末の土器と初期の弥生土器が共伴して出土する移行期の遺跡である。貝塚から堅果類などとともに多量の炭化米が出土している。また、アワ・キビ（fig.2）の圧痕を多数確認することができた。灌漑水田はみられない。

#### 弥生前期中葉（2500～2400<sub>14</sub>CBP）

三谷遺跡が衰退するころ、隣接する徳島県徳島市庄・蔵本遺跡では大規模化な灌漑水田稲作を営むようになる。これまでの調査で1万m<sup>2</sup>以上に復元できる水田跡や、灌漑施設跡を検出し、多量のイネを検出している。

近年の調査で、畠跡とみられる遺構や雑穀などの種子検出に成功している。2006年の調査では、集落の位置する微高地縁辺の緩傾斜地（水田の水源となる旧河道の南岸）において、畠跡を検出した。畠跡は 200 m<sup>2</sup>ほどで、畝立てをおこなっている(fig.1)。畠跡の一部には焼土・炭化物の集積がみられ、フローテーション法(0.5 mm)によって、アワ(2420±30<sub>14</sub>CBP)・キビ(2400±30<sub>14</sub>CBP)などを検出することに成功した(fig.1)。

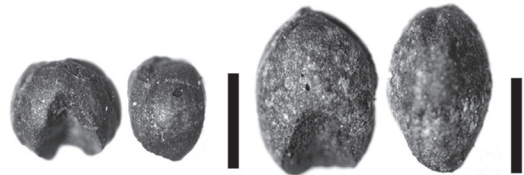
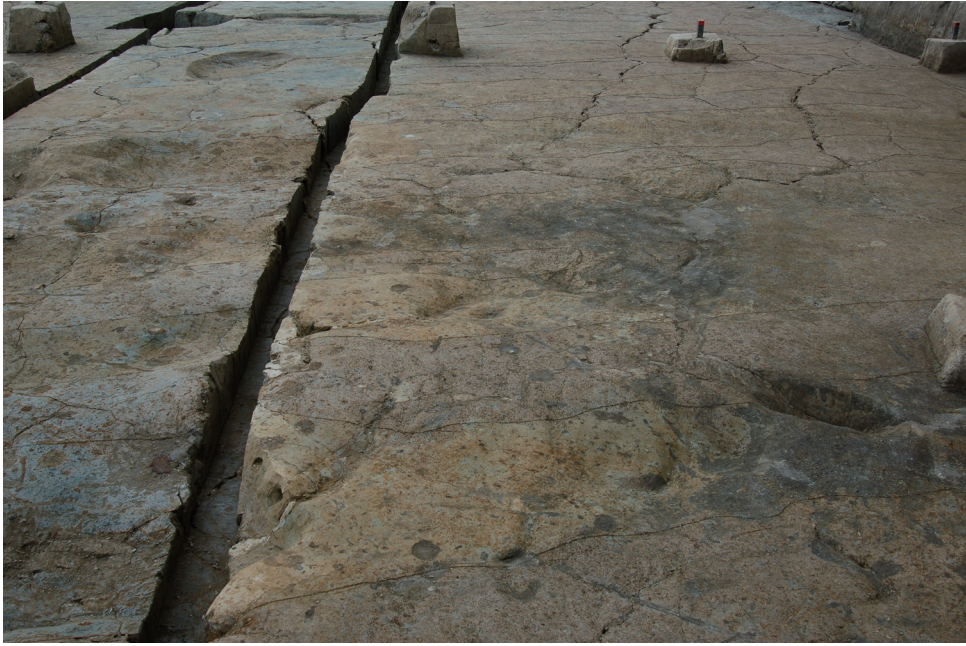
2012年の調査では、2006年の畠跡から 100m ほど旧河道を西側にさかのぼった北岸の微高地（灌漑用水路の取水口付近、用水路の先の低地には水田がある）から、1000 m<sup>2</sup>を超える畠跡とみられる遺構を検出することができた。

弥生前期後葉(2400～2300<sub>14</sub>CBP)

弥生前期後葉には洪水砂の堆積が著しくなり、微地形が大きく変化する。水田域も微高地化し、灌漑用水も機能しなくなったものと考えられる。この時期もイネ・アワ(fig.2)などの種子と、キビの圧痕(fig.2)を検出している。

今後の課題

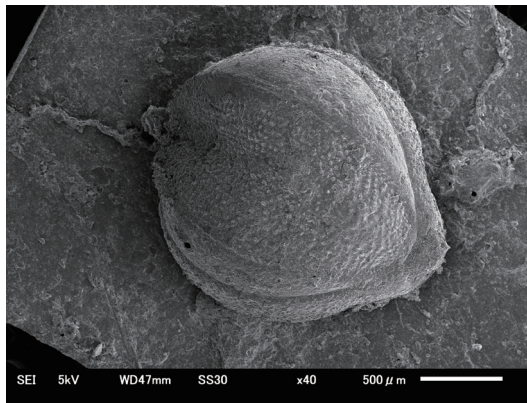
従来、日本考古学では灌漑水田稲作の起源を、「新石器革命」として高く評価し、弥生時代以降はイネの生産にもとづく文化・社会が展開していったと考えられてきた。しかしこの先入観によって、基礎的な畠跡の発掘調査技術の確立が遅れており、雑穀の役割は過小評価されている。今後は畠作・雑穀を評価し、農耕文化の多線的発展を視野においた調査・研究を推進しなければならない。



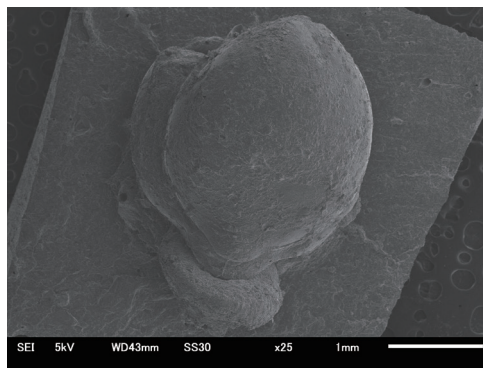
2420±30<sup>14</sup>C BP

2400±30<sup>14</sup>C BP

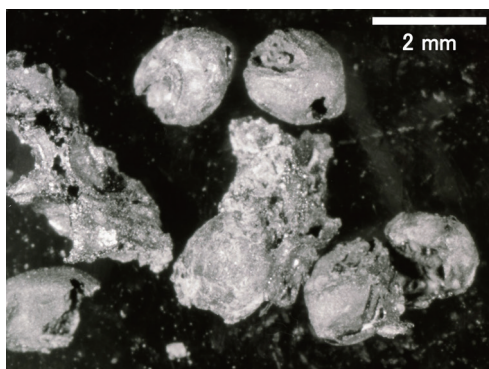
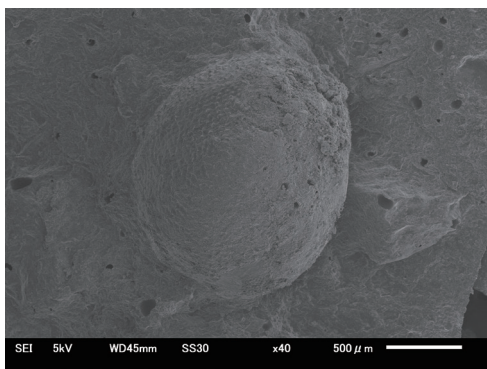
fig.1 徳島県徳島市庄・蔵本遺跡出土畠跡・雑穀



徳島県徳島市名東遺跡 (2800~2600<sup>14</sup>C BP)

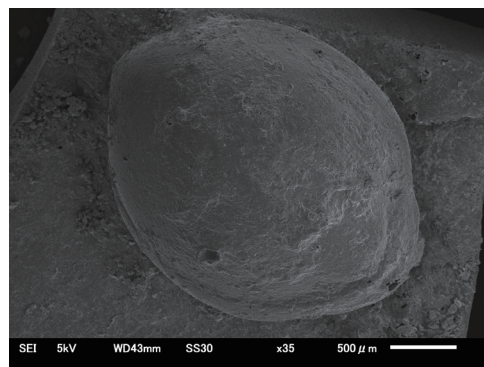


徳島県徳島市三谷遺跡 (2600~2500<sup>14</sup>C BP)



三谷遺跡

徳島県徳島市庄・蔵本遺跡 (2373±20<sup>14</sup>C BP)



徳島県徳島市庄・蔵本遺跡 (2400~2300<sup>14</sup>C BP)

fig2. 縄文時代晩期~弥生時代前期出土雑穀